

転ばぬ先の・・・

これで安心

冬みち対策

札幌に住んでいれば誰にでもやってくる冬みち。道路はツルツルだけど、仕事や学校、病院に行くには外に出ないわけにはいきません。がっちりとした体格の人や瞬発力のある若者でも、油断をすると不測の大きなケガをしてしまうこともあります。

でも、ちょっとした気遣いや心構えで、自分だけでなく、他の人もケガをしないで済むかもしれません。

今回はそんな冬みちの「心得」を紹介します。

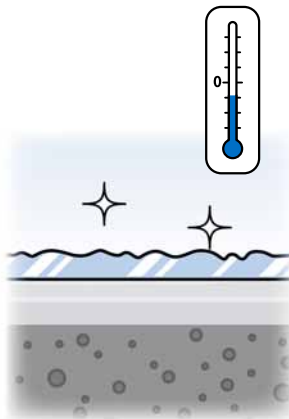
【問い合わせ先】区土木センター ☎851-1681

そもそも

どうしてすべる？



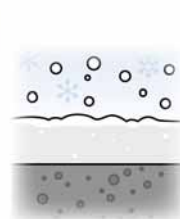
さらに、人や車が通ることで表面が磨かれ、ツルツル路面が出来てしまいます。



昼間に気温が上昇し、表面が解けます。夕方気温が一気に下がると氷になります。



積もった雪の上を人や車が通り、圧雪状態になります。

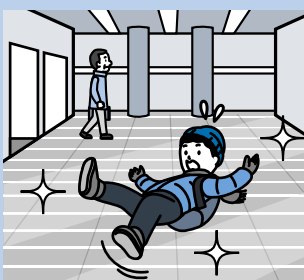


雪が積もります。

雪が氷になり、その上に水の膜が張ります。雪に比べると断然滑るようになります。

タイルやフローリング

意外と見落としがちなのが、雪のない地下街や店舗の床。靴底に付いた雪が解けて、タイルなどが氷並みに滑りやすくなっています。



車の出入り口になっている歩道

ガソリンスタンドや駐車場の入り口など、車の出入り口になっている歩道は、排気熱で雪が氷になりやすく、傾斜がついていることがほとんど。



横断歩道

車や人が行き交う場所なので、他の場所に比べて、特に滑りやすくなっています。車道との境目は段差や傾斜になってしまいます。



やっぱり？

どこがすべる？

「なるほど、あそこね」という定番もありますが、意外な場所もツルツルに。

